

## ○教育改革について

戦後の日本の教育は10年に1度改訂される「学習指導要領」によって学習の方向性や学力観が決められてきました。新しい学習指導要領が小学校で2020年、中学校で2021年に完全実施となります。知識偏重の詰め込み型教育から、思考力・判断力・表現力を重視型教育への本格的な転換が図られます。

これを受けて、現在、日本の小・中学校では、教員が教壇に立って知識を教授する「一方通行型」の授業から、アクティブ・ラーニング（能動的な学習）等を取り入れた「主体的・対話的で深い学び」の授業への転換を図っています。

ここハワイに住む子供たちも日本の教育改革の影響は受けると思います。ご家庭で、お子様と学習をされる際に、次のことを心の片隅においていただけると幸いです。

## ○算数の問題

- 1 次の数を求めなさい。  
一つの袋に二本の鉛筆が入っています。この袋が八袋ありました。このとき、次の数を求めなさい。

この解答は、 $2 \times 8 = 16$ 本、答えは16本です。

この問題をA君は、 $2 \times 8 + 1 = 17$ 本、答えは17本と書き、バツになりました。A君からその後、担任に17本では間違っているのですかという質問がありました。担任が、A君にどうして17本なのですかと聞くと、次の数をもとめなさいと書いてあったので、16本の次の数は、17本だから17本だと、A君は答えました。それを聞いた担任は、答案用紙に○をつけました。この話は、日本の話ですが、日本語の読解の難しさからくるものだと思います。

算数・数学は、論理的思考を重視します。上位の学年にいくほど、結果よりそれにいたる論理構成を重視します。お子さんのいっしょに勉強をされる時、「どうして。どう考えたの。」という言葉投げかけ、思考力の育成を図ることを大切にしてください。

## ○家庭での教科書の使い方について

ご家庭で、教科書を使ってお子さんと学習している時、「考えてみよう」、「わけを説明しよう」と書いてある箇所が多いことに気づかれた保護者の方が多いと思います。

現在、思考力、判断力、表現力の能力を育むことを重要視した教科書になっています。ご家庭で、お子さんといっしょに学習される場合、「これは、こうだ。」と説明すると、解答にいたる学習は早く進むのですが、それでは身につかない力があります。教科書の書いてある通りの流れに従って、お子さんと学習をしてみてください。そのことで、思考力、判断力、表現力が育成されると思います。

12月23日	平常日課、後期前半最終授業日、全体集会、
1月6日	平常日課、後期後半始業日、全体集会、
1月13日	平常日課、
1月20日	平常日課、入園テスト

